

鉄骨工事 Q&A	材料	アンカーボルト	制定	2014年6月1日
			改訂	2016年7月1日

Q.構造用アンカーボルトのABRとABMはどのような材料なのか？

A.

ABR、ABMは、兵庫県南部地震での露出柱脚の被害の反省から、露出柱脚用として制定された構造用アンカーボルトのセットの規格における種類の記号です。

（一社）日本鋼構造協会の規格（JSS規格）が2000年に制定され（2004年改定）、その規格を元に、2010年にJIS規格が制定されましたが、2015年3月にJSS規格ボルトを製造する工場の認定制度が廃止されました。

ABR、ABMとも、ボルトの材料はSNR400B、SNR490B、SUS304A（JIS規格のみ）で、ABRは転造ねじ加工したボルトを使い、ABMは切削ねじ加工したボルトを使います。転造ねじは、強い力を加えて素材を変形させる塑性加工でねじ山を形成するもので一方、切削ねじは、ねじ山を軸から削り出すことで形成します。

- ・（一社）日本鋼構造協会規格
 - JSS II 13 「建築構造用転造ねじアンカーボルト・ナット・座金のセット」
（炭素鋼：ABR400/490）
 - JSS II 14 「建築構造用切削ねじアンカーボルト・ナット・座金のセット」
（炭素鋼：ABM400/490）
- ・JIS規格（ステンレス製のものやめっきの表面処理法が追加されている）
 - JIS B 1220 「構造用両ねじアンカーボルトセット」
（炭素鋼：ABR400/490、ABM400/490、ステンレス鋼：ABR520SUS、ABM520SUS）

建築基準法では、指定建築材料（主要構造部材等に使用する建築材料）は、JIS規格適合品ないし大臣認定品となっていますが、このアンカーボルトのJIS規格は指定建築材料に含まれていません。

JSS規格が制定された際、国土交通省の見解として、「これらのアンカーボルトは両端に定着用のねじ部を有するだけの棒鋼であり、指定建築材料としては、JIS G 3183 建築構造用圧延棒鋼SNR400/490として扱う」とされています。



転造ねじ

切削ねじ

構造用アンカーボルトのねじ形状の違い

本Q&A

A-1-14「アンカーボルトの転造ねじと切削ねじの違いは何か？」

A-2-19「構造用アンカーボルト（ABR、ABM）をL形・J形に曲げ加工したりめっき処理しても問題ないか？」

も参照して下さい。

出典：建築用アンカーボルトメーカー協議会パンフレット「構造用アンカーボルト」